

# ふね作りを楽しみました

2学期が始まって1週間。もも組の子どもたちは、天気の良い日はプールに入って思い切り水遊びを楽しんでいます。始業式の前は、保育室の壁面のトンボを見て、「トンボ作りたい」「カブトムシもいいね」とみんなで話していました。しかし、始業式が終わって保育室に戻ると船作りが始まりました。その翌日の2日と3日の子どもたちの様子をお伝えします。



友達も興味を持って、一緒に見ていました。



始業式の後、空き箱で船を作っていたので、翌日、水に濡れても大丈夫な素材を用意しました。でも、空き箱で作っていました。濡れると壊れてしまうことを伝えると、カップを下につけて上げ底を付け、その下にスチロールトレイを付けていました。水に浮かべても動かなかったのですが、シャワーの水をかけると動くことに気付いていました。私が「シャワーはちょっとお休みにしてほしいな」と伝えると、ジョウロで水をかけ「先生、動いたよ！」と教えてくれました。



「ふわーって出ると動くんだよ」と、2つ目の船を作っていました。ストローを付けて、息を吹き込めるようにしていました。息を吹き込むと“ブクブク…”と泡が出てきて「先生、動いた！！」とまたまた嬉しそう。一緒にいた友達も「動いた動いた」と大喜びでした。（ストローをくわえているので、私には動いているように見えなかったのですが、子どもたちは何度も息を吹き込んで、動かしていました。きっと、イメージしたように、ふわーっと泡が出たのでとても嬉しかったのだと思います）



翌日は、ビニールテープなどいろいろな素材を使って、色や形にもこだわって作っていました。



紙テープや芯など紙の素材を使い、「濡れちゃった…」と残念がる姿もありました。素材によって、水に弱いことを知る機会にもなりました。